

活動内容

令和元年6月～9月にかけて、まちづくり基本計画検討にかかる個別意向確認を実施し、まちづくり協議会の方向性や現状と将来の暮らし方など、意見をいただきました。

まちづくり基本計画検討にかかる個別意向確認について

令和元年6月～ 9月にかけて、まちづくり基本計画検討にかかる個別意向確認を実施いたしました。お忙しいところ面談の実施やアンケートのご提出にご協力いただき、誠にありがとうございました。お伺いいたしました皆さまのご意向について、以下のとおりご報告いたします。

回答状況

	地区内居住者	地区外居住者	合 計
権利者数①	133	103	236
回答者数②	81	51	132
うち面談対応	60	23	83
回答率 (②/①)	60.9%	49.5%	55.9%

質問1 造幣局南地区まちづくり協議会の検討の方向性

協議会におけるこれまでの検討内容を踏まえ、今後も計画的なまちづくりを行う方向で検討を進めることについて、ご意見をお聞かせください。

回答者数：132

検討を進めた方がよい	77 (58.3%)
検討を進める必要はない	19 (14.4%)
わからないその他	23 (17.4%)
記載なし	13 (9.8%)

質問2 現状と将来の暮らし方について

※回答者数132名による複数回答の集計
※():回答者数132名に対する割合

まちづくり基本計画たたき台(複数案)パターン1のようなまちづくりを行うと仮に想定した場合に、おおむね10年後の将来の暮らし方・資産の活用についてのご意向を教えてください(今回のご回答で決定するものではありません)。

現在の利用状況		将来の利用希望	
地区内居住	84 (63.6%)	個別利用街区	61 (45.5%)
商業・業務	6 (4.5%)	共同利用街区	44 (33.3%)
土地・建物賃貸	47 (35.6%)	地区外で資産活用	11 (8.3%)
その他	7 (5.3%)	未回答・未定	32 (24.2%)
合 計	144 (109.1%)	合 計	148 (112.1%)

※「個別利用街区」「共同利用街区」は、まちづくり基本計画(案)中では、「中低層建物エリア」「高層建物エリア」と表記しています。

質問3 まちづくり基本計画たたき台(複数案)へのご意見

回答者数：132

	大変望ましい	望ましい	望ましくない	未回答
パターン1 (造幣局跡地の一部と連携した連鎖的なまちづくり)	35 (26.5%)	34 (25.8%)	30 (22.7%)	33 (25.0%)
パターン2 (現状の街並みをできるだけ維持しながら、最低限の防災上の安全性を確保)	11 (8.3%)	30 (22.7%)	57 (43.2%)	34 (25.8%)

質問4 将来当地区にほしい・残したいと思う機能や施設

キーワード	意見数	具体的な施設等
商業・業務	16	高齢者向け衣料、安価なホームセンター、大規模スーパー、病院、ジム、スポーツ施設
交流	12	集会室、町会が利用できる施設、学生との交流拠点
居住	8	高齢者・小規模権利者向け賃貸住宅
子育て	6	保育園、幼稚園
高齢者	5	高齢者向け賃貸住宅、高齢者向け医療・介護施設
防災	5	防災カフェ、備蓄倉庫、防災倉庫、防災拠点
基盤整備	5	地下道、副都心線新駅、公園・広場
防犯	4	公園の作り方等を工夫して治安が悪化しないこと
その他	14	静かさ、周辺に施設が充実しているので現状のままでも良い、子育ての街よりも先端的な街を

まとめ 個別意向確認の結果および協議会での議論をふまえ、まちづくり基本計画作成に向けて、以下の方向性を確認しました

- まちづくり協議会として、今後も計画的なまちづくりを行う方向で検討を進める
(質問1:「造幣局南地区まちづくり協議会の検討の方向性」より)
- 安全・安心で住み続けられる魅力あるまちの実現を目指し、造幣局跡地の一部と連携した連鎖的なまちづくり(パターン1)に向けて検討を進める
(質問3:「まちづくり基本計画たたき台(複数案)へのご意見」より)